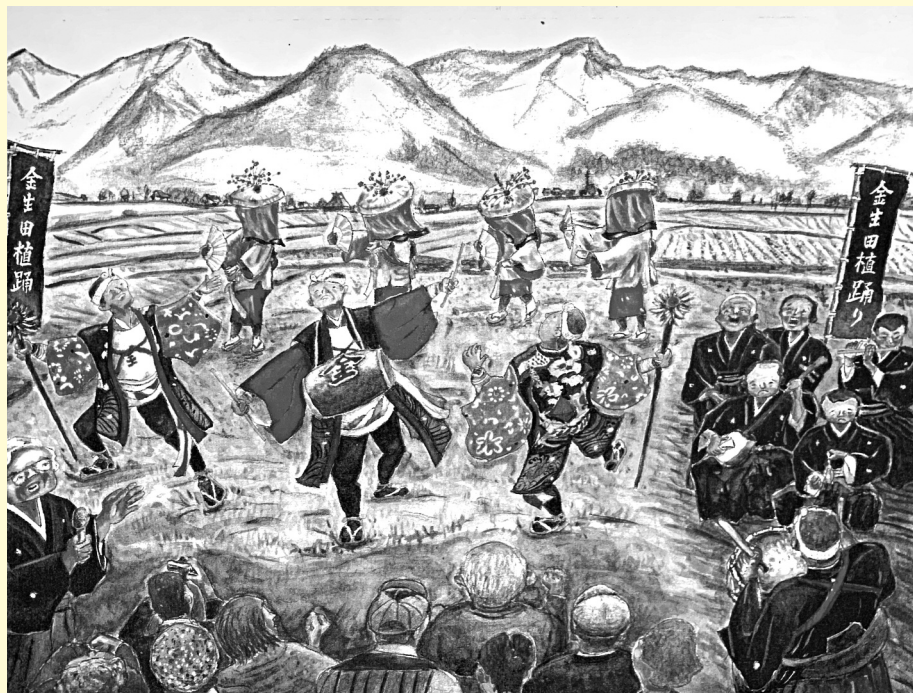


かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊 Monthly Local Magazine : Kaminoyama

かみのやま

第254号 2022年6月



「上山城」からのたより 初夏 第155便
上山城

連載上山温泉秋祭り【踊り山車】上山人物記
小松 正明

わが町再見『城廻り』シリーズ④ 本丸-6
鎌上 宏

連載◆ふるさとへの便り ②
武田 幹雄

連載 随筆 ⑨ 時代の流れは見えない
橘 千枝

上山のシンボル 三吉山

桜井 和敏

連載 創作 ⑥ 見知らぬ風景
をさわ 英幸

連載エッセイ かんごし通信 (31)
えも たくみ

連載◆竹のようにしなやかに (4)
大武 芳子

連載エッセイ 「気持は今も変わらない」はなし
佐藤 藤三郎

「表紙のことば」竹内敏夫：21頁

窮屈な休憩室 上山藩の幕末⑤：23頁

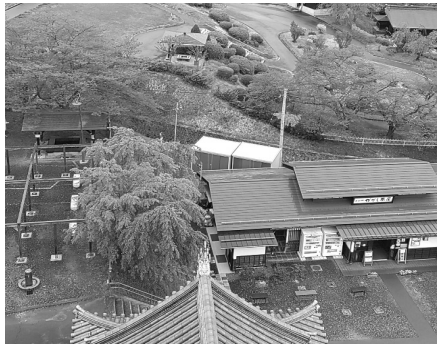
●月刊かみのやま巻頭企画

おしる
「上山城」からのたより 初夏・第155号

【常設展示室から】抽選で景品が当たるクイズ上山城探検を毎月実施中。クイズを解きつつ、お見学をお楽しみください。

かの沢庵和尚は小堀遠州との交流から茶道に親しみ、『茶亭之記』や『茶器詠歌集』を著しました。目利きであったにもかかわらず、茶器のコレクションや贅沢な茶室は茶道の心ではないと述べています。茶のこころとは天地の調和であり、山川草木を茶室に移して小天地の中に和を生み出すこと、そしてそこでは「和」と「敬」が大切なこととことです。自然に溶け込んだ春雨庵で、茶香が訪問客の心をほぐし、お茶をたてながら話に耳を傾ける和尚の姿が目に浮かんでくるようです。

茶道についてさかのぼれば、栄西の『喫茶養生記』に行きつきます。養生のための仙薬は茶や桑であり、粉にして飲むことにより心の穢を強くする薬効があるとのこと。お茶は長い歴史の中で人の心とからだを癒す大切な飲



かかし茶屋 撮影:筆者

み物として定着してきたことが伝わってきます。

さて、現代のアロマといえばコーヒーが欠かせません。戦後の日本社会に広がりが一九七〇年代以降は質の高い喫茶店がまちの中に増え始めました。今日ではチェーン店が多くを占めています。が、当時は個人経営の喫茶店がたくさんあり、マスターの腕がコーヒーに反映されていました。伝説の焙煎人、新居實氏はコーヒーを点てる腕に加え、焙煎の技術、豆の保管方法、ブレンド豆の組み合わせ、豆の仕入れ、器具の吟味等々、どれ一つ欠けてもコーヒーの調和は崩れてしまう仕事をすべて仕切るマイスターです。立藩四百周年・築城四十周年の今年は、伝説の人が生み出すコーヒーの香りを皆さんに楽しんでもいただく機会を作りたいと考えています。また、お城には少しずつではありますが、ハーブの植栽を始めました。香りとともにくつろげる空間を用意し、地元の方にも観光で訪れる方にも、お城のすばらしさを満喫していただきたいと思えます。

おしる
上山城の香り

(公財)上山城郷土資料館理事長 森久保 俊 満

内科・循環器内科・人工透析内科
医療法人 長 清 会

長岡 医院

院長 櫻井清陽 理事長 長岡迪生
院長 櫻井清陽
診療時間/平日9:00-12:30 14:00-18:00
休診日/日曜日・祝日・木曜日
上山市沢丁9番13号 TEL.672-0308

泌尿器科・皮膚科

山口クリニック

院長 山口 寿 功

診療時間: 平日9:00-12:30 14:00-18:00
水曜・土曜: 9:00-12:30
休診日: 日曜・祝日・水曜午後・土曜午後
上山市四ツ谷 1-6-35 TEL677-0050

原田眼科医院

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	●	●

木曜・土曜 12時まで / 休診日: 日曜・祝日
上山市十日町 9-2
023-672-0008

永田歯科医院
Nagata Dental Clinic

診療時間 AM 9:00 ~ PM 1:00
PM 2:00 ~ PM 6:00
休診日 日曜・祝日・木曜
上山市元城内 3-62
672-0215

6月 湯の涌、夢の涌、人も涌く
ワクワク温泉城下町
かみのやま

空色・暮色ウォーキングに
参加しませんか?

6月中旬~10月中旬は「蔵王高原坊平コース」を歩きます!

空色ウォーキング 1:00~12:00
暮色ウォーキング 14:00~16:00
参加料/お一人様3,000円(小学生以上)、
未就学児 300円
2名様より前日15:00まで要予約



(一社)上山市観光物産協会
023(672)0839
http://kaminoyama-spa.com

♥愛車に Make-upを……
钣金・塗装・車検

〜承ります〜
東北運輸局長認証工場

創業44年 **E 有限会社 遠藤ボデー**
〒999-3122 上山市仙石1121-1
TEL 023-672-7185 FAX 023-672-7167

メモリアルホーム鶴脛

各宗・総合葬祭

(株)マルシン葬祭社

寝台車(霊柩)・ワゴン・マイクロバス
上山市久保手4005の10
023-672-4242
☎023-672-4470
E-mail e-taishin@if-n.ne.jp

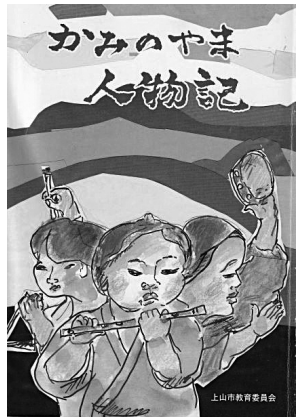
上山温泉秋祭り『踊り山車』

―屋台山車の記憶―

踊り山車振興会 小松 正明

♪驚いた♪驚いた♪驚いたあ
♪かみのやま人物記♪

踊り山車の始まりに関する歴史書は、月刊かみのやま2020年5月号6月号に記しました。上山市史を含む様々な記述の出典は『上山見聞随筆』となっていました。その著者菅沼定昭さんは弘化3年(1846)生まれでした。その時私は、1752年の山車の始まりのことを菅沼さんはどうして知っているのか疑問でした。この度、家の書棚の隅から『かみのやま人物記』という冊子が出て来て、上山の産んだ傑出した人物たちとして菅沼定昭さんが載っていました。買った覚えがなく、定価もついていないので、子供の教育用に教育委員会で編纂して各家庭に配布したのでしようか。以下は読後のまとめ感想です。



菅沼家の先祖は土岐山城守頼行の家臣で土岐徳兵衛定基と言いました。天和3年(1683)に亡くなり、徳右衛門定保が後を継ぎました。その後土岐家は太坂城代となり、越前国野間に移封となりました。家来は全員移る事になりましたが母親は上山に残った為、定保は弟定敏に役目を譲って上山に戻り、母親の面倒を見ました。その後名字を菅沼と改めて菅沼徳兵衛定保と名乗り、菅沼家の初代となりました。

た。それから八代目が定昭さんなのだそう。定昭さんは郷土の歴史や出来事に興味を持ち、15歳頃から色々な場所を訪れてありとあらゆる分野を調べて回りました。こうして家業(染物屋)の傍ら35年間資料を集め、5年間かけてまとめ上げて『上山見聞随筆』という6冊の本を完成させました。その前文にこう記してあります。『葦(よし)の髄から天井を見ることは、世間を狭く見たとえではあるけれど、葦の髄から見ても天のいくつかの小さな世界は見えるだろう。これも見る事の始まりである。一歩を踏み出すことが大切なのであって、一歩踏み出さない事、見ない事よりはいい。・・・皆さんの評価を受け、正しいか間違いかをしっかりと書き、子孫に残し、また後の参考になるのを待つところである。』私は『井の中の蛙大海を知らず』と

いう言葉を思い出しました。荘子の言葉ですが日本ではさらにその後にはデジタルな次の言葉があるといえます。『されど空の深さを知る』―狭い世界で自分の道を突き詰めたからこそ、その世界の深いところまで知ることが出来る―ということでしょうか？見聞きしたものを書いただけなので真偽は分からないとはつきりと書いている前文は潔く、山車に関しても菅沼さんが生まれる100年前の事を書いてあるけれど、後の評価を受けて参考になるのを待つと記している訳です。

私事ですが、祖祖父『善次郎』は明

治16年(1883)生れで昭和42年86歳で亡くなりました。私は中学生でした。将棋を指しながら「その手は桑名の焼き蛤」とか面白い事を言い、家の色々な事も話してくれました。私がつと頭が良かったらきつと調べたり記したりしたに違いない。つまり100年前のことは生き証人の口伝で伝わるといふ事です。『上山見聞随筆』は近世上山の庶民の歴史のバイブルだと思います。「上山八景」『稼せ鳥』『百姓一揆』・・・等々改めてじっくり読んでみたいと思います。勿論この人物記に掲載された偉人達も。



江戸時代後期の矢来橋の様子です。(肖像画がないので、作品をかかげました。)

上山がもっと元気に
なりますように。

私たちは、そんな願いも込めて
山形新聞を毎日お届けしております。

～新聞をもっと身近に！～

山形市旅籠町2-5-12
山形メディアタワー6F
☎023-635-6111
上山営業所
上山市弁天2丁目
☎023-672-0259
上山南営業所
上山市石崎1丁目
☎023-673-3541

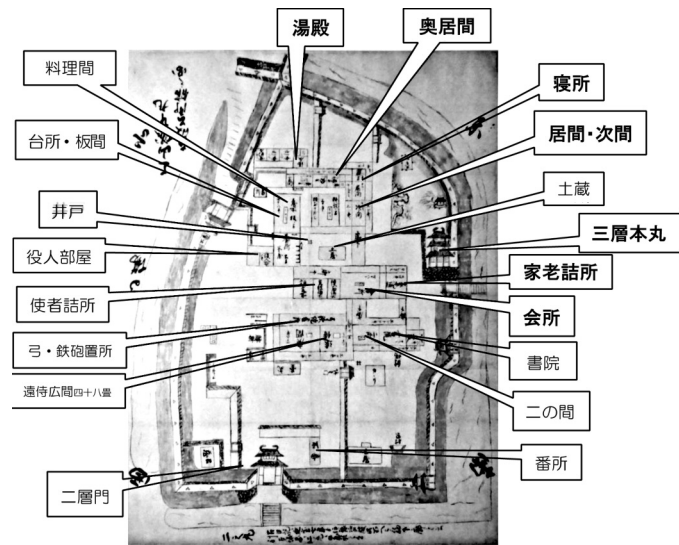
美咲花咲きめ
パークング
かみのやま温泉駅東口
とても便利です!!
キッチンカーなどの
出店(短期・定期)も、
随時ご相談承ります。
☎673-1895[鈴木]

こんな困りごと
ありませんか?
宝石・メガネ・時計
タニエ
上山市石崎2丁目1番33号
☎023-672-0364
携帯:080-3330-6973

前回土岐時代後半の出来事を概観してみました。この度は延宝七（一六七九）年の本丸内奥御殿絵図の頃に関わって考察します。

長男頼長は二男頼隆（土岐二代目）と同年生まれながら嫡子でした。しかし、頼長二十一歳の寛永三（一六六三）年秋、父の知行分けについて何らかの異議があつて江戸に上りました。その鬱憤があつてか、年を越した翌寛文四（一六六四）年十月十五日のこと頼長は伊藤休庵という醫者を切りつける事件がありました。頼長元服の頃に父は相続について何らかの思案があつたことでしょう。子の不行跡が先か、父の見立てが先か、あまり表沙汰にはならない親子の確執があつたとみなければなりません。寛文七（一六六七）年に頼長は六月に江戸城大奥役付きになり妻をも娶っています。が、およそ十年後の延宝六年（一六七八）四月十四日に頼長には公義より参勤止めの沙汰が下されます。すぐに父頼行に知らされ、頼行はすぐに国元に引き取りました。

頼長が高福寺に逼塞を言いつけられていた延宝七（一六七九）年の十月六日のことです。父は頼長と一緒に湯町の



「上山城本丸・土岐公御館之図」（延宝七1679年「上山見聞随筆」付六図）の名入れ図。上が北、右が東。「土蔵」西と「書院二ノ間」南に井戸がある。土蔵西の井戸は現在の月岡神社前御手洗舎とされる。南方には二ノ丸藩庁館があつた。

湯に入ろうと誘い、先に湯船で待つていました。その時父には深い謀りごとを手配していました。次の間に家老三浦兵衛門を詰めさせていたのです。久々の親子の湯で、父は松山館に時折り参られよなどと語りかけました。頼長は久しぶりに温かい父の情を感じたことでしょう。その間、家老三浦は脱ぎ外した頼長の大小刀を取り、そして配下の寺田と月岡に予め手配し頼長屋敷の太刀、脇差し、鎧、小刀など計三十七本すべてを本丸蔵に運び込ませたのです。

頼行は御家の行く末と藩内治世のために、次男頼隆の家督相続、矢来橋完成という御国入りの祝いごとを進めている間に、長男頼長への処遇の言葉に表しがたい重い決断をしていたのです。父頼行はその後隠居し宗是と名のつて（天和元年一六八一）江戸暮らしを始めるのです。それは、上山藩では湯殿山行人（道者）の通行手形発行

を清光院から役所発行に変えた（延宝八年一六八〇）頃であり、本丸内に跡目頼隆侯母親の屋形が普請され、またそのおよそ十年後に頼隆侯が大坂城代に叙任、越前国野間藩への転封のことがひっそりと動き始めていた頃のことです。

この本丸御館は、藩主頼行侯が夜な夜な行く末を思案し考えごとをした寝所、湯屋、また家老の機微を汲んだ居間の配置図であり、また二代目頼隆侯が執務した館です。「黒戸（持仏殿）」が書き込まれていませんが、代々の先祖様とも重々対話し思慮を尽くしたことでしよう。

土岐侯時代の時代を画した（エポック）頃の御館図です。

参考文献「上山三家見聞日記」（市史資料⑭）、「上山見聞随筆」（同⑯）、同付図集、市史（上）

蟹仙洞

代州道人



開館 9:00~16:30
休館日：毎週火曜日

山市矢来4丁目 023-672-0155

斎藤茂吉記念館 令和4年度 特別展

収蔵資料展

斎藤茂吉、新たな
魅力の発見-

会期：8/30(火)まで

休館日：水曜、7/3-7/9

斎藤茂吉記念館 北町字弁天 672-7227

上山城歴史講座

「もう一つの藤井松平家、二人の俊英」

老中・松平忠固と立憲思想家・赤松小三郎に寄り添いながら幕末史の知られざる局面を照らします。

講師 岩井 哲 氏 (書肆岸主辛)

日時 6月19日(日)
午前10時~11時30分

定員 30名 (事前予約制)

料金 入館料

お問合せ・お申し込み

上山城

山市元城内 023-673-3660

◆連載◆ふるさとへの便り 第六十二回

武田 幹雄
(上山出身・千葉市在住)

ご近所の桜井さんからミヤコワスレとケシの花を頂いた。ホタルの飼育の名人で、そろそろ桜井さんの庭に子供たちがやってくる季節なのだが、餌のカワニナが取れなくなつて、数年前に断念した。その他にもメダカの新種を交配したり、珍しい紫陽花が咲いたといつては拙宅に届けてくれていたが、最近はやの塩梅が良くないと散歩も控えておられる。ミヤコワスレは順徳天皇が佐渡島に流された折、この花を見て慰められた事が名前の由来という。青、ピンク、白の小さい花が綺麗だ。

五月某日、星乃珈琲店。妻が在宅のリハビリを受ける間、ここで過ごすことが多い。近くに声の大きい三人の老人。定番の年金、病歴、薬に加えて最近はやウクライナ。老人は朝

から新聞を隈なく読んで、テレビのワイドショーもしつかりと見ているから、知識は半端な評論家以上。一人がトリガーを引くと、もう止まらない。途中で店の人が注意に来たが、お代わりのコーヒーを注文してどこ吹く風だ。

父も生前、酒に酔うとロシア(当時ソ連か)の話をした。日ソ友好条約の延長を破棄して、終戦間際に参戦、戦勝国側になった。ソ連のやり方は許せない。北方四島を領土に組み入れた上、北海道を割譲しようとしたと憤っていた。マッカーサーとトルーマン米大統領によつて阻止されたが、くだんの老人たちも、



微に入り細を穿つようにロシアの悪口を話した。時折り、その通りだ

始めた。仮にロシアが北海道に侵攻したら、仮に中国が台湾を攻めたら、尖閣列島がウクライナ化した時に日本はどうするか。おやおや話が世界情勢になつてきた。

と僕も膝を打つ。話題は映画監督の河瀬直美さんに及んだから、この爺さんたちは侮れない。河瀬さんが東大の入学式で述べた祝辞。ロシアとウクライナの正義がぶつかっているとしたら、どちらか一方の意見に左右されて物の本質を見誤っていないだろうか、悪を存在させることで安心していかないだろうかという、ロシアを肯定するような表現もあった。世論はロシアが悪、だからあちこちで物議を醸した。この辺で僕は、ぼんやりと寺山修司を思い出した。

マッチ擦るつかのま海に霧ふかし
身捨つるほどの祖国はありや
前衛歌人・寺山の代表的な歌。本歌取りだ、オマージュだと様々な意見がある中で、反戦の短歌と解説されている。私には命を捨ててもいいと思えるほどの祖国があるだろうか、いやない、みたいな意味。スポーツ紙で競馬のコラムを書いていた寺山の文章が好きでよく読んでいた。こんな文章を書いてみたいと思っていた。

七十何年もの間、平和を享受している今のニッポンで、死ぬかもしれない戦場に、祖国の為に赴く若者がどれほどいるだろうか。有事に伝えられるとはとても思えないほど呑気に見える。

僕は戦争を知らない世代だが、昭和の生き残り。パールハーバーも広島原爆もちゃんと理解している。そうは言いながら、ちゃっかりとダブル景気を全身で経験している身もある。ウクライナの義勇兵募集に手を挙げた日本人もいた、という報道もあったが、相変わらず原稿棒読みの国会を眺め、選挙の投票率がとても低い千葉県に住んでいて、こんなことをつい、考えた。



「写経会」：毎月第4土曜日9時から
「ご詠歌会」：毎月第1水曜日1時30分から

最上三十三観音第十番
上山三十三観音第一番

水岸山慈眼院 **観音寺**
山形県上市市十日町9-29 電話023-672-1421

**吉井内科胃腸科
クリニック**



診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30 - 12:00
P.M. 2:00 - 6:00

院長 **吉井 英一**
023-673-7515
上市市金生東一丁目10-15

**普段着家族写真
キャンペーン!**
8,200円(税込)

6切写真+6切額のセットです
普段の服装で来てください
おそろいの服も格好いいよ!

高橋写真館
SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 [完全予約制]
営業時間 9:00~18:00 定休日 火曜日
<http://takahashi-photo.net/>
上市市十日町8-5

連載随筆⑨ 時代の流れは見えない 橘 千枝

(エッセイスト)

友人から面白い話を聞いた。友人の曾祖父は舟運で賑わった町の素封家だったそうだが、連日の遊興で身代を潰したとか。祖父は、傾いた家運を立て直すべく、ブラジルに渡って一旗揚げようと家族を連れて横浜港まで行ったが、妻の眼の病気で検疫に引っかかり乗船できなかった。しかし親類縁者からたくさんの餞別を貰って出たので郷里に戻ることもできず、今の土地で暮らし始めたのだとか。



江戸時代の舟運 (イメージ)

当時の舟運で栄えた町の人ほど、陸路などより水路の方が簡単便利という感覚だったであろう。汽車や自動車の輸送などあり得ないことに思えたのも無理はない。それまで慣れ親しんできた時代の感覚は、誰かに言われて理解できるものではなく、自分自身が体験して初めて実感できる。いつまでも同

じことが続き、ずっと商売が上手く行くと思うのが人の常だ。友人の曾祖父が、格別な思慮が浅かったとは言えないのではないだろうか。

江戸から明治・大正への社会変革を

思う時、現代では想像すらできない大きな価値観の転換だったと思う。自分その中にいたら、どう行動したのか。交通機関はもとより、社会の基盤が丸ごとひっくり返ってしまったらと考えただけでも身震いがする。しかし意外に中にいる人たちは、流されているからこそ気づかないのかもしれない。もがきながらも何とか生きて、それなりの体制ができた時に、一つの時代と呼ばれるのだろうか。

ウクライナの戦争を見ている、なぜロシアの国民が自分たちのやっていることに気づかないのかと不思議に思う。為政者の情報統制はもろんだが、その渦中にある人間には見えないのかもしれない。そこにある人たちの暮らしや価値観の塊ともいべき歴史は、何十年も経ってからでないと正確な形

では見えないのだろう。だからこそ今の時代を客観的に冷静に見ることが必要なのだが、実際にそれができるといふとなかなか難しいところだ。歴史は後世の人が判断するというのも、また真実だろう。

今の人口減社会は我々が経験する初めての社会で、そのノウハウは誰も知らない。たまたま上手く回った社会や地域や会社や組織がもてはやされたりして、皆が同じことをやろうとするが、それが軌道に乗らないうちに、また世の中の方が変わってしまうことの繰り返しだ。時代の流れはますます速くな

るのに、地域社会の価値観や感覚、ましてや体制を、フットワーク軽く替えることは難しい。

地方創生を唱えて一億円をばらまいたということもあったが、遊興に使い果した家主と同じだ。それを国債の償還や年金の積み立てに充てておけば、今頃こんな困った時代にはなっていないと思うのだが、金のある時には経済を回すことの方が重要に見えるのだろう。政治の場合は誰も責任を取らないことも、困った歴史の事実である。

自分が生きて来た時代は右肩上がりの経済成長期で希望があった。頑張れば

その分、豊かな暮らしができると思って努力できた。今は何を指して生きればいいのだろう。価値観は多様化して幸せの基準は人それぞれだが、一方で生きるだけで精一杯という人たちもいる。

とりあえずは、この寂れた田舎町をどうにかしたい。地域活性化というお題目を唱えたところで、個々が行動しなければ何も変わらない。単に人口が増えれば良いというものでもない。災害や戦争が他人事ではない今、見えない時代の流れに流されながらも、いつかは歴史になるこの時を、うかうかしなで日々を過ごさねばと思うのだ。

夏をお洒落に愉しもう。

ソフィア
SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか!

ムース♥デコ

美白・リフトアップ
ニキビ・吹き出物
毛穴の黒ずみ
シミ・小じわ
手の荒れ
アトピーなど

特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー!

アライ美容院
ご予約:673-3002

手打そば だから亭

上山市金生東二丁目
023・673・3103

見知らぬ風景

を、さわ英幸
(東京都在住・上市市出身)

近づこうとすると遠ざかり、通り過ぎると追ってくる。窓外に流れる山も含めて、風景とは触れることの出来ないものなかもしれない。

きのう入り日に目を細めて、きょう朝焼けに手庇をした或る日のことだった。西の山の頂上で黄昏を待っていると、日は更に西の山へと沈んでいった。この場所が空の切れ目だと思っていたのは、勘違いに過ぎなかったか。そう思いつつも愕然としなかったのは、山腹の枝葉の隙間から、須川を垣間見たからである。空は途切れずに、川面に写りながらせらいでいた。青サギにつばまれたウグイは、呑まれる間際、初めて空を見たのであろう。くの字に反らせた胴体からは、

わずかに鱗が剥がれ落ちたのだが、あれは涙だったのかもしれない。

頂きから見えるサギは、すでに暗がりに色を失いつつあった。蝶の袖は軽やかに西日を受け、暗香の在り処を探していたが、時折触れる茨から、鱗粉を削がれていた。日が沈まぬ内に、静かだった獣たちが嘯く前に、山を下りねばならなかった。雑木を頼りにして急いでいると、山道の片傍に祠があった。気に留める暇は無かったのだが、小さな火袋に火が灯ったのに思わず振り向いた。

——人限のはずなのに、誰かが点けた残り火であろうか。
と、思っていると、螢であった。騒々しい足音に午睡を覚まされたか、程無く

飛び立つと、火袋はすぐに夕闇に姿をくましました。

おもしろさ急には見えぬ薄かな
鬼貫

江戸の俳諧師、上島鬼貫の名句である。群がるススキ一本は、ただのススキ一本ではない、それに気づかず通り過ぎるのは愚かなことだ、と言っているのではないように思う。じっと見ていれば、だんだんと色々な面が見えてくる、その面白さは、つねに変化する、と言っているのではないか。そして、急に見えたかと思えば、急に見えなくなったりもするので、厄介なものだ、と苦笑している姿

かぶ。

ここで再び金子萬嶽が詠んだ例の句のことが脳裡をよぎる。

近よれば見うしなひけり山ざくら

萬嶽の発句は、管見ではこの句のみしか知るすがすがしいが、私をして十分すぎるほどに胸を打つのである。ここで多くを語らないが、鬼貫も萬嶽も、生きた時代は異なるが、どちらも人の見えぬ風景

を理解したのだろう。

白鳥は哀しからずや空の青

海の青にも染まずただよふ

牧水

「和歌も良くつてよ」

と言いながら、若山牧水の歌を教えてくださいましたのは荒目里桜だった。何十年ぶりかで邂逅した彼女が再び去って、間もなく一年である。笑窪をこしらえて呟いた

あとに、どことなく淋し気に感じたが、彼女が去って思ったのは、白鳥とは彼女自身だったのだろう、と言うことがある。

ひと、せとなるも白鳥染まらぬは
空の深きに青さあるゆゑ

彼女もまた、人の見知らぬ風景を見てしまったのだろう。この歌を彼女に捧げ、筆をおかせて頂く。

いも煮
2~3人前
(6コ入り)
¥6,600 (税込)

地元「上山」のお土産に!!

丸松物産株式会社
山形工場 上市市新北浦3番地
TEL.023-673-5511
http://www.marumatsu-mb.co.jp

手づくり洋食を
ご家族連れどうぞ

レストラン
駅東口より徒歩5分

イビサ 023-673-3034
営業時間11:30~21:00 (日・祝) 11:30~21:00
定休：木曜日
除く祝日

ご商談・ご宴会に
二階宴会場をご利用下さい

割り子そば

石臼挽きそば

みつひろ
上市市新湯6-34
TEL.672-3815

上山のシンボル 三吉山

桜井和敏
(山形市在住・上山市出身)

山形市の霞城セントラル24階から遙か南南東方向を望めば三吉山が聳える。その姿はハワイのダイヤモンドヘッドに酷似する。山形市から車で東バイパスを南進し金瓶を過ぎた辺りから三吉山が姿を現わす。『お帰りなさい・・・』と私を温かく迎えてくれるのだ。

私にとって三吉山は母なる山であり、いつも見守ってくれる聖なる存在と思っている。22年間上山で暮らし、お世話になった故郷には様々な思い出が去来する。初めて三吉山に登ったのは小学生の小学年になってからだが、近所の子

供たちとは年に2〜3回くらいは登ったと思う。元朝参りは年中行事の一つであり、近所の子供たちと10人ほどのグループで一緒に出かけた。大晦日には予め手製の松明作りから始めるが、先輩たち3人くらいに限られていた。空き缶に鋸屑を詰め石油をたらし、更に松の根っこを差し込む。それを棒切れに取り付けて完成だ。夕食を済ませてから近所の友人宅に集合し、トランプや百人一首などで楽しんで時間を潰し午後11時に出発するのだった。松明持ち以外は懐中電灯を持参した。標高574メートルの三吉山でも夜の登山とな

ると結構きついものだった。行き交う人々には『おめでとう』とか『おはよう』と互いに声を掛け合うのも元気づけられる挨拶だった。あの岩海まで登ると7合目辺りだろうか、鐘の音が更に大きく聞こえてくる。さあ、もうすぐ頂上だ。

頂上に到達した時は脚が棒のようになつて疲れて痛かったが、三吉神社に参拝してから鐘を搦くと何とも言えぬ達成感と喜びに満ち溢れ、晴れて新年を迎えるのだった。しばし焚火で暖を取ってから下山した。

日中の登山も楽しかった。登山

者にとって山の湧き水くらい有難く美味しいものはない。二合目に第一水飲み場(石鳥居)と岩海の下に第二水飲み場があつて喉の渴きを癒してくれる、オアシスだ。私にはもうひとつ期待する楽しみがあつた。上山市街から西を望むと大平山などに遮られ、朝日連峰は見えないが、中腹辺りまで登ると勇壮な山脈(やまなみ)が姿を現す。青く霞む山肌に白雪を残すその光景にとても魅了されたもの



です。

上山市のシンボル、三吉山は変わらぬ姿で私をいつも優しく迎え入れてくれるのです。

上山市を離れて54年、市街地は見違えるほど立派な街並みに様変わりしたのに三吉山は昔の姿そのものだ。

『ふるさとの山に向かひて言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな』啄木の歌に共感する。



◆おかげさまで売れています!

ゆるゆるシリーズ

「猫の手マドレーヌ」

「わんわんドーナツ」

「しっぽフィナンシェ」



十三屋本店

上山城登り口西六七一〇一六九九



まちcafe2011

どんどん焼き

チーズ入りどんどん焼き

男爵ブレンド

ドリンク各種



営業時間 11:00~

場所 荘内銀行上山支店さん向かい

駐車場は市営二日町駐車場をご利用下さい

NPO法人 上山まちづくり塾

読者の皆様は生活習慣病と聞く

と何を思い浮かべるであろうか。生活習慣病とはその名の通り、好ましくない習慣や環境が積み重なることで発症する疾患を指す言葉である。日本では主に七つの生活習慣病が危険視されており、それらをまとめて『七つの大罪』ではなく『七大生活習慣病』などと呼ばれることもある。前述したような知識は、看護学生時代にどの教科書を開いても記載されており、もはや一般教養的なレベルで認識してはいたのだが、看護師として十年近く病院に勤めていると、特に高血圧、脂質異常症、糖尿病の患者の多さには驚かされ

るものがある。

私自身、まだ三十歳を数えたばかりの若輩者であり、これからの人生でどのように生活習慣が乱れ、どのような順序を経て身体が不調になっていくのかは未知の領域ではあるのだが、若輩者ながらに、これだけはできれば御免被りたいという疾患がある。それがこれから話す『糖尿病』である。

糖尿病は一型と呼ばれる先天的なもの、二型と呼ばれる生活習慣を原因として発症するものに分けられるが、後者の方が95%と圧倒的多数を占めている。私たちの身体は糖分を吸収すると脾臓から『イン

スリン』というホルモンが分泌されて糖分を分解することになっていくのだが、糖分の過剰摂取などによって分解が追いつかなくなると、脾臓の機能が衰え、血中の糖分が増えていく、という状態になる。糖が分解されないまま高血糖の状態が続けば血管がもろくなり、重症化すれば心臓病や失明、腎不全や末端の壊死による足の切断、などという恐ろしい病態を引き起こす。

私の勤める整形外科でも術後の創部感染のリスクが抜群に高く、全身に多大な影響を及ぼす疾患なのである。そこで本来は手術の前々日からの入院で良いところを、血糖の

コントロールのために一週間前からの入院、という事例も間々ある。

糖尿病と診断されたら初期の治療として運動療法と食事療法を指示されるが、それでも不十分な場合には薬物療法を併用することとなる。場合によっては毎食前に針を刺して血糖を測定し、内服をしたりインスリンの注射を打たなければいけなかったりと、治療の期間も手間も相当のものであると推察される。体質や環境が影響する疾患であ



るため、一概に不摂生が原因とは言えないが、祝い事があればケーキを食べてお酒を飲みたい、と言ったような風情や人情みたいなものが生活習慣病の原因なのかもしれない。先日長女が五歳の誕生日を迎え、そのようなことを考えたのであった。暴飲暴食は避け、適度な運動とバランスの良い食生活を心がけてまいりましょう。

山形県知事許可「高度管理医療機器等販売業許可証」取得店
最適な補聴器。プラシモライト。

デジタル補聴器
耳掛型
“無料試聴貸出”中!

耳あな型
片耳価格
138,000円

ポリウム
コントロール付

148,000円(片耳・非課税)
248,000円(両耳・非課税)

計測器
補聴器

エフパルク
F. parlo 佐藤

〒999-3143 上山市二日町9-1(矢来橋ギワ)
TEL.023-672-0207

いなげ花店

上山市矢来一丁目3-18
(かみのやま温泉駅前)

駅前本店 TEL.672-0157
FAX.672-6760
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ

各種ご贈答にも最適

上山市金瓶水上6-2
Phone: 023-672-5861

連載・竹のようになやかに (4)

大武芳子
(上市市出身)

師範学校に入るためには学校で上位の成績を取っていなければならぬ。だからしげおは、一生懸命勉強した。そんな彼を人は秀才といった。

大久保氏は、しげおをととても可愛がった。大物の実業からしく、男らしかった。なぜか、金時計を与えたりもした。彼の別の夢をしげおを通してみていたのかも知れない。

しかし、大久保氏は、莫大な財産を残してぼっくりと死んでしまった。大久保氏は製糸工場を経営していたから、大きな工場や土地もあった。本当ならそれらは全部しげおのものになるはずだった。しかし、しげおは大久保家を出ていた。金時計も夫人に渡した。

しげおの頭には「金持ちでなくとも、師範学校に入れるんだ」という考えがあったのだ。

最終的に落ち着いたところは、母さだのところだった。さだは高橋氏と一緒に暮しており、高橋氏はしげおに「借金してでも、お前を師範学校に入れてやるぞ」とまで言ったほどだった。そんな言葉に励まされて、しげおは黙々と勉強した。でも、しげおの人生には不幸が付きまとうのだ。高橋氏はしげおが師範学校に入る前に脳卒中で死んでしまった。



挿画：村上百花

数多くの苦勞を乗り越えて、昭和元年山形県師範学校に入學した。時の校長は和田兼三郎氏である。

山形県師範学校は、現在の県立図書館から産業会館通りの位置にあり、明治十一年に開校され明治三十四年九月に現在の山形県立山形北高等学校校舎に移転した。これは昭和四十八年六月二日、国の重要文化財に指定された。

建物がルネッサンス様式で、めずらしい手法であるからだ。学校名は後に山形県尋常師範学校となり、さらに後に元の山形

県師範学校に戻り、山形県女子師範学校と合併され山形師範学校となり、最終的に実業補習学校員養成所と青年学校教員養成所、山形青年師範学校と合併し現在の山形大学教育学部に至っている。

山形大学教育学部は私の卒業した大学であり、後に教員として勤め、教育学部の最後の教員であった。私が退職した後、教育学部はなくなっている。

運命を感じる。中学一年生の生徒（作者）がどんな方法で調べあげたのか。しかも今から五十年前の話なのである。話をしてくれた母も百歳で亡くなっている。

原稿「鎮魂歌」は題目であり、表紙には「最後の審判」を連想させる絵が鉛筆で描かれている。

* * * * *

昔の先生はなんでも出来なくてはならなかった。しげおは何をやってもよく出来た。ただし一つだけ出来ないものがあった。それは鉄棒である。運動神経が鈍く、タイミングをとれなかったのだ。

昭和五年、しげおは秀才と言われて卒業した。

この年、日本はロンドン軍縮条約に調印した。徴兵があるので五ヶ月間しげおは陸軍に入る事になる。しかし、しげおは運動神経が鈍いから戦争に引つ張られなかった。

昭和六年、満州事変が起こった。

この年、しげおは念願の音楽の先生となり上山小学校に赴任した。さっそくプラスチックバンドをつくって、いろんな行事の時に演奏してみせたりした。兵隊さんを送り出したりしたこともあった。

昭和十一年、荒井喜美と結婚した。

あなたの『本』づくりを お手伝い致します。

エッセイ集・紀行文集・詩集・歌集
研究書・記念誌・写真集・画集など
なんなりとご相談下さい。

【有】スタジオ・ワン

〒999-3145
上市市河崎2-4-23
電話 023-672-8581
FAX.023-672-8582

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社

山上企画

〒999-3122 上市市仙石1263番地5号
TEL.(023) 673-1114 FAX.(023) 673-1115

有限会社

大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大崎村駒場字砂右衛門橋 3-162
TEL.(022) 345-5378 FAX.(022) 345-5378

「気持は今も変わりない」はなし

佐藤 藤三郎
(著述業 農業)

三月も下旬の頃になると陽光も明るさを増し、「春」らしさを感じさせる。そんなある日の夕餉のあとだった。

老婆と二人、無口で茶を飲んでいたところに珍しい人から電話が入った。八十歳代も半ばを越すと電話をくれる人も少なくなる故に「誰からだろ」と手早に受話器をとって耳にあてた。「Hです」と言った。その声はかなりじやりていたが高く元気そうだった。私は懐かしくなり「いやいやしばらく」と応えた。「元気ですか」と先方のことばが早かった。「まずはね」というと「もうわたしは八十八歳ですから」と言った。そんなことを言わずとも私が中学校の一年生のとき彼女は三年生だったから八十八歳であることは分かるのだけれど「もうそんな歳になったのですか。それにしてお元気そうなの若々しい声ですね」と

返事した。

何の御用だろうと思ったが、格別な用件ではなさそうだった。それで私は多分このことだろうと思つて「息子さんは市内の伝統ある小学校の校長先生になられてこのたび定年退職されることを新聞で見ました」と言うとなんはとも嬉しそうだった。そしてすでに私が言っていたのに「市内でも」と誇らしげに言った。

彼女の家族は戦中に大阪であったか京都であったかそちらの方から移住して来られた人だ。

なぜにそんなに遠くから、と大人たちが言っているのを聞いたこともあった。仕事はベントナイトという土が薬材に利用されるときか、兵器だとか、まさかと思うが食料のカテ(補充)にも利用される、などとも言われていた。そしてそれを採掘するところがこ

の村には六ヶ所もあった。それを「土山」と呼んでいた。その「土山」の経営者は地元の人ではなくて東京だとか大阪だとか京都などの人であったのである。さらにまた工場長なども地元の人ではなくてそちらのほうから来られていたのである。彼女はそうして一家の家族として子どもとともにこの村に来て、わが家の近所に住んでいたのだった。

敗戦になって間もなくすると他の五つの工場の人たちは村を去ったが、Hさんの家族だけは村に残っていた。そしてすっかり「村の人」になっていたのである。

Hさんは中学を卒業すると役場の吏員となった。また青年団にも入り、その活動に熱中した。そればかりではなくて事務の仕事にもうんと手をかしてくれた。「青年団」といえば「村」

の行政においても財政面ではともかく、その活動には一目も二目もおく伝統のある組織であるゆえ、村長をはじめ吏員たちもその方の仕事に対する印刷機の利用や用紙の使用なども理解があつて、団の活動における彼女の存在はとて大きかった。

当時の青年団活動は一行政区にとどまらずその範囲は広く、交流があつた。合唱だとか平和運動といつた社会活動などもとても活発に行われていたものである。

そうしたなかで彼女は隣村の大活動家であるKさんに出会つたのである。そのKさん、男である私の目で見ても男の中でも男らしい人だ。中学

校と高校のときにはバスケットボールをやられたとあつて背が高く美男、そればかりではなく頭脳明晰で人を寄せつける活動家でもある。そのKさんにHさんはすっかり心ひかれたらしかつた。

私はKさんからHさんのラブレターを見せてもらつた記憶が頭の芯に残っている。凄く熱烈な文面であることも忘れていない。しかしKさんは私にそれを見せて笑つていた顔も忘れていない。なぜなら自分ももらったラブレターを他人に見せるなどというのには残念ながら愛も恋も滲んでいないことを知らしめるものだと思つたからである。もちろん、たとえ

KさんはHさんの恋を受け入れたとしても、Kさんには農家の後継ぎである事以上に、Hさんの家の方が、Hさんを家を守る、というよりも、両親の暮らしを守る人としての必要とその存在が大きくてとても離すことを許さなかつたからである。だからむしろKさんが心を向けてくれなかつたことが幸運であつたとみればいい。人生とはそうした「運」もあるのだ、ねHさん。

しかしそれであつても八十八歳になつてもなおKさんのことが好きである「気持は変わりません」と明言するのだから頼もしい。

■「上山市無形文化財・金生田植踊り」2022・6

田植踊りの由来は日本古来の農本の国として神に捧げる稲作の行事として、田植えの無事と秋の豊作を祈願するために神事として行われたものだそう、以前には上山周辺の殆どの村々で踊られていたが、太平洋戦争によって後継者不足で一時中断しています。金生田植え踊りは昭和22年に保存会を

発足以来、「金生の郷土民俗芸能」として継承されております。近年では市や地区、学校等の行事などに上演されており、私がスケッチのため観ることができたのは二年前の金生地区盆踊り大会で上演したときでした。その前に公民館での稽古もじっくり鑑賞させていただき素晴らしい活動だと思えました。そうそう、振り付けは全員男子です。
(金生田植踊り保存会発行「金生田植踊り」参照)

竹内敏夫

窮屈な休憩室◆上山藩の幕末58 編集子
1697年(元禄10)から1869年(明治2) 版籍
奉還まで、上山を統治した藤井松平氏について

『寛政重修諸家譜』によるところの、いわゆる「14
松平氏」の1つ、譜代大名の藤井松平氏が、隆盛期
において9万石の石高であったにもかかわらず、
なぜ3万石(厳密に言えば戊辰戦争後3千石削減
され2万7千石)にまで減封されたのか?

出自は三河国安城。藤井松平氏の中興の祖は松
平宗家家康は9代5代長忠の5男・利長と言わ
れています。2代信一は観音寺の戦い(別称・箕作
城の戦い)において一番乗りを果たした。信長はこ
の信一の働きをみて「膽(きも)に毛を生ずる人
といい、自身が着ていた足利家より拝領の鹿革に
五三の桐紋を縫い付けた草戎衣(胴衣)を脱いで信
一に与えたという。

問題は6代忠之。いろんな資料をあたると「ご乱
心」のため、当時下総古河9万石の大名であった藤
井松平氏はいきなり改易となつてしまった。

「ご乱心」とは?そこで「徳川実記」を紐解いて
みると「あらぬふるまい」とある。

では「あらぬふるまい」とはいつたどのような
振る舞いであつたのだろうか?

小生の考えではそこは「熊沢蕃山」とい
う思想家が関与しているように思えてならない。
熊沢蕃山は大名財政を圧迫している参勤交代の緩

和や鎮国批判などを展開し、総じて幕政を批判し
た廉で藤井松平氏に預けられ、城中において謹慎
の身となつていた。だが、当時の古河は渡良瀬川の
氾濫が常態化しており、それが悩みの種であつた。
そこで蕃山の得意とする治山治水の技術が頼りに
され、忠之は優秀な蕃山を藩政に関わらせてしま
う。幕府を批判し謹慎の身にあつた人物を藩政に
関わらせたことが幕府の知る所となり怒りをおこ
してしまつたわけである。

ただ不幸中の幸い、6代目の忠之が1万石加増
で5代信之の老中にも昇進。家督を引き継い
だとき、もちろん改易など夢にも思わなかつた頃
のことだが、加増分の1万石を弟の信通に与え、興
留藩を立藩していた。さらに、それまでの徳川家へ
の功績が認められ藤井松平家は再興を許され、2
万石加増のうえ3万石で庭瀬へ移封。そして元禄
10年上山に転封という流れになつたわけである。
一大名の盛衰はまさしく幕府の胸先三寸でいか
ようにもなつたという一つの例である。

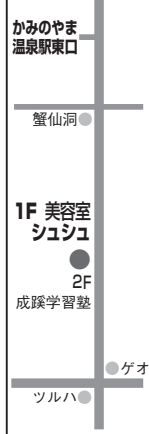
(次号予告:熊沢蕃山について)

【資料】藤井松平氏の変遷

三河国(藤井安城)▼1590年・布川(5千石)▼
1601年・土浦(3万5千石)徳川政権樹立・幕藩体
制の確立▼1617年・高崎(5万石)▼1619年・
丹波篠山(5万石)▼1649年・明石(7万石)▼1
679年・大和郡山(8万石)▼1685年・古河(9
万石)▼1693年・改易(家名再興・庭瀬(3万石)
▼1697年・上山(3万石)↓2万7千石



抗がん剤治療で
お悩みの
あなたへ
医療用ウィッグの
購入支援及び
助成金が受けられます。
美容室 Chouchou
http://chouchou6736030.blog.fc2.com
山市矢来4-8-1 ☎673-6030



東京駅5分、家族経営の温かな料理店
ママとパパ
上山中学校昭和40年度卒業
上山小学校昭和37年度卒業
さて、誰でしょう?
変な頭が特徴です。
中央区日本橋2-2-15 日本橋テイトビル2階
☎03-3274-1797 上京の折、ぜひ来店ください。

進和ラベル印刷株式会社
〒999-3104 山市蔵王の森10番地
TEL (023) 672-7577

丸松物産株式会社
山形工場 山形県上市市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
http://www.marumatsu-mb.co.jp

栗川稻荷神社
山市松山一―五二鎮座
社務所 ☎03(六七)〇三三〇
御祭神 稲倉魂命
元旦祭 一月一日
例大祭 四月二十三日
月例祭 二十三日
由緒沿革
栗川稻荷神社は備中国庭瀬の城主
松平信通公が城中守護神として奉祀
され、厚く信仰されてきたお社であ
ります。
元禄十年九月出羽国上山に国替を
命ぜられ、その後松平家の守護神と
して城内に社殿を造り固い信仰を捧
げたのであります。
大政奉還の後は現在地の松山高台
に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に
境内はもろん県外よりの多くの参
拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』第254号 発行日 2022年6月1日
編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
〒999-3145 山市河崎2-4-23 ☎023-672-8581 FAX.023-672-8582
発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村蔵六 編集協力/鎌上宏

- 山市観光課 ☎03(六七)〇〇〇〇
- 山市観光協会の ☎03(六七)〇〇〇〇
- かみのやま温泉旅館 ☎03(六七)〇〇〇〇
- 山市立図書館 ☎03(六七)〇〇〇〇
- 山城郷土資料館 ☎03(六七)〇〇〇〇
- JRかみのやま温泉駅 ☎05〇〇(〇)一六〇〇
- 蔵王坊平観光協議会 ☎03(六七)〇〇〇〇
- 蔵王猿倉観光協議会 ☎03(六七)〇〇〇〇
- 山交ハイヤー ☎03(六七)〇〇〇〇
- 観光タクシー ☎03(六七)〇〇〇〇
- 上山タクシー ☎03(六七)〇〇〇〇
- 上山レンタカー ☎03(六七)〇〇〇〇

こんにやく懐石膳

お客様の接待、ご会合等にもご利用ください。



各種ギフト・お土産品もごさいます
(発送も承っております)

楯下宿



株式会社

丹野こんにやく
こんにやく番所

フリーダイヤル 0120-08-2351
〒999-3225 山形県上山市楯下1233-2
TEL (023) 674-2351
FAX (023) 674-2515

なつかしい和 (なごみ) の空間

かみのやま温泉葉山 彩花亭
さいかてい

時代屋
じだいや

☎ (023) 672-2451
<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名荘
MEIGETUSOU

〒999-3242 上山市葉山5-50
TEL.023-672-0330(代表)
フリーダイヤル0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉



仙溪園 月岡ホテル

〒999-3141 山形県上山市新湯1-33
TEL.023-672-1212代

かみのやま温泉 葉山

はたごの心
橋本屋

電話 023-672-0295
FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>